	(0) 関果服力における容(が)代編集と古墳環復 自2方同性について・・・・ 一関信性域の編年の接続と進齢の古環境調査について・・・・
	軽部達也(藤岡市教育委員会)
	まえがき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
(:)名古屋大学タンデトロン加速器質量分析計シンポジウム報告 「タンデトロン加速器質量分析計を用いた ¹⁴ C年代測定の利用による 考古学・文化財科学研究の新展開」
1.	シンポジウム開催の主旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
2.	名古屋大学タンデトロン加速器質量分析計による ¹⁴ C年代測定と・・・・・9 共同利用の現状(1993年度)
	中村俊夫・池田晃子・太田友子(年代セ)
3.	古地磁気年代測定法の考古学・人類学への応用・・・・・・・・・・24 酒井英男(富山大学理学部)
4.	地震と考古学・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30 寒川 旭(地質調査所近畿・中部地域地質センター
5.	トルコ・エルジンジャン東方における北アナトリア断層の発掘調査・・・・32 奥村晃史・吉岡敏和(地質調査所) İsmail Kuşçu(トルコ,MTA地質研究部)
	中村俊夫(年代セ) 鈴木康弘(愛知県立大学) (1985年 1987年 1987
6.	"縄文馬は"いたか・・・・・・・・・・・・・・・・49 近藤 恵 (東京大学)
	松浦秀治(お茶の水大学) 中村俊夫(年代セ) 中井信之(地球科学研究所) 松井 章(奈良国立文化財研究所)
7.	古代鉄器の ¹⁴ C年代測定・・・・・・・・・・・・・・・・54
	井垣謙三 (東北大学名誉教授)
8.	昆虫化石群集から得られた先史~歴史時代の古環境変遷・・・・・・・59 森 勇一(三重大学)
9.	九州地方の縄紋中期土器編年と ¹⁴ C年代・・・・・・・・・・・・・75 高瀬哲郎・徳永貞紹(佐賀県教育委員会)

1	0	•		所時代編年と古環境復元の方向性について・・・・ 81 統人と遺跡の古環境調査について — 軽部達也(藤岡市教育委員会)
1	1	•	. 「諸桑の古船」小考・	・・・・・・・・・・・・・・・・・ 98石田泰弘(佐織町教育委員会)
1	2		. 文書記録・火山層序学	的調査に基く噴火の長期予測・・・・・・・ 121 守屋以智雄(金沢大学文学部)
1	3		. ロシア極東地方と北海	道の先史文化交流について・・・・・・・ 134 山田悟郎(北海道開拓記念館)
1	4		. シンポジウム参加者名	
(2))業績報告	
1	0	#	北海道北部における完新	T世後半の泥炭層の形成・・・・・・・・ 146 大平明夫・海津正倫(文)
2	0.0		深海における粒状有機物	
3	0	Ē		おける海底堆積物に含まれる有機物の解析・・・ 161 原田尚美・半田暢彦(大気水圏研) 福地光男(国立極地研)
4		ブ	大気中メタンの炭素同位	本比測定とその挙動解析(II)・・・・・・・ 170 森泉 純・永峰康一郎・飯田孝夫・池辺幸正(工) 吉田尚弘(大気水圏研)
5		1	¹⁴ C年代測定用鉄鋼試料	からの C 抽出法・・・・・・・・・・・ 178 太田利道・平沢政広(工) 中村俊夫(年代セ)
6	5	在	砂漠による二酸化炭素固 -炭酸塩中の ¹⁴ C/ ¹³ C	
				ンズランド州南部沖産沈水サンゴの放射年代・・ 189 佐々木圭一・大村明雄(金沢大学理学部) 中村俊夫(年代セ) 辻 喜弘・松田博貴(石油公団技術センター) 本田信幸(合同石油開発) Peter J. Davies(シドニー大学)
				John F. Marshall(オーストラリア地質調査機構)

8. 東シベリア, フィコフスキー半島周辺の永久康王の形成年代・・・・・・ 197 長岡大輔(北海道大学大学院地球環境科学研究科) 曽根敏雄・福田正己(北海道大学低温科学研究所) 中村俊夫(年代セ) 仲山智子(北海道大学大学院理学研究科) V. Kunitsky(ロシア,サハ共和国ヤクーツク)
9. 那須茶臼岳,高原山,日光白根山の最近6,000年間の噴火頻度・・・・・ 207 奥野 充・守屋以智雄(金沢大学文学部)中村俊夫(年代セ)
1 0. 樹木年輪を利用した火山噴火の年代決定・・・・・・・・・・ 217 - 浅間山天明の噴火 (1783年) を例にして- 熊谷博之 (理学部地震火山観測地域センター) 小田寛貴 (理学部化学科) 中村俊夫 (年代セ)
1 1. タンデトロン加速器質量分析計による ¹⁴ C測定における・・・・・・237 炭素同位体分別の補正について - ¹⁴ C年代算出の手引き- 中村俊夫・池田晃子(年代セ) 小田寛貴(理学部化学科)
1 2. 加速器質量分析計による ¹⁴ C/ ¹³ C比測定における同位体効果の補正・・・244 小田寛貴(理学部化学科)
1 3. 加速器質量分析法による高感度放射性炭素年代測定の現状と展望・・・ 252 中村俊夫 (年代セ)
(3)名古屋大学加速器質量分析に係わる卒業論文および・・・・・・・ 268 博士課程修了論文リスト
M. Kondo, S. Matsulura, T. Nakawura, M. Kakai and A. Matsul
8. Palecenvironmental Transition of the Pre-historical and Historical 8 Ages Based on the Fossil Insects Assemblages Y. Morû
7 分析地方の網絡市地土製鋼保上14で年代